

Tochigi Nougyo Joshi Project

つながり、広がる
農業女子の輪

とちぎ農業女子プロジェクト成果集

EPILOGUE

むすびに

当初のとちぎ農業女子プロジェクトは、
自分達の夢を叶えるための、小さな点でしたが、
その点は多様な人を巻き込み輪となって広がり、
農業の新たな魅力や可能性を創り出す場となっています。

叶えたい夢があれば、あなたも
とちぎ農業女子プロジェクトに参加してみませんか。
きっと、素敵な仲間と一緒に、農業の面白さや
やりがいを発見できることでしょう。



とちぎ農業女子プロジェクトに関するお問い合わせ先

●栃木県農業者懇談会（とちぎアグリプラザ内）

〒320-0047 栃木県宇都宮市一の沢2-2-13

TEL: 028-647-2622 FAX: 028-647-2629

●栃木県農政部経営技術課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埜田1-1-20

TEL: 028-623-2317 FAX: 028-623-2315

PROLOGUE

とちぎ農業女子プロジェクトの ことはじめ

2013

平成25年度

栃木県農村女性会議が国の女性経営者発展支援事業を活用し、次世代女性農業者の発掘・育成を開始しました。

同じ頃、国と民間事業者とのコラボ企画などで女性農業者の目線による情報や意見を発信する“農業女子プロジェクト活動”が活発になっていました。

国の農業女子プロジェクト活動に参加し、他県の女性農業者との交流を通し経営発展や農業のイメージアップを図りたいという県内の次世代女性農業者が動き出しました。

2014

平成26年度

国が主催する女性農業者交流会に派遣された若手女性農業者に加え、県内各地の若手女性農業者が参加する「とちぎ農業女子ネットワーク」が動き始めました。

ABOUT

とちぎ農業女子プロジェクトとは

栃木県内の若手女性農業者がネットワーク化を図り、共通する課題の解決や、目標の達成に向けた「プロジェクト活動」を行う取組です。

県内外のイベントなどで、自身の農産物や加工品を販売する「マルシェ・カフェプロジェクト」や子育て世代などに、食や農業の大切さを伝える「食育・農業体験プロジェクト」、女性の感性を活かした農作業衣などを提案する「農業イメージアッププロジェクト」、農業女子プロジェクトのオリジナルブランドを開発する「開発プロジェクト」など、その活動は多岐に渡ります。

この冊子では、とちぎ農業女子プロジェクト活動の軌跡を紹介します。

“女性が農業で輝いている”

その姿には未来がある

We love
agriculture



2017

平成29年度



03 次々と新たなチャレンジへ

自分たちの取組をラジオで発信したり、愛媛県の一次産業女子とも交流を深めるなど、農業女子の輪が次々と新たな出会いやチャレンジに結びついていきます。

02 本格的にとちぎ農業女子プロジェクト活動を開始

とちぎ農業女子プロジェクト推進事業により、本格的に農業女子プロジェクト活動が開始され、マルシェ、食育・農業体験、農作業衣イメージアップ、美と健康、情報発信の5つのプロジェクトが生まれました。



プロジェクトでは、農業者の働きやすさと農業のイメージアップにつながる共通作業衣の着用や機能性に優れた作業衣のカタログづくりを行い、農業女子の実用性とおしゃれ心を満たす作業衣が提案されました。

うつのみやろまんちっく村を会場に「1Day Cafe」を開催し、農産物やジャム、ドレッシングなどの加工品づくりにチャレンジ。農業女子おすすめのジュースやプレート料理などを提供し、確かな手応えを得ました。

新たな挑戦により、大きな可能性を見いだした活動でした。

2016

平成28年度



01 県の事業化によって

県の「とちぎ農業女子プロジェクト推進モデル事業」により、県域ネットワークの形成や農業女子プロジェクトのロゴマーク・のぼり旗の製作、消費者との交流・対面販売のマルシェ参加など農業女子の存在が注目されるようになりました。

埼玉県の先進的な農業女子の取組を講演会と現地視察で学べたことは、大きな刺激になり、とちぎ農業女子プロジェクト活動の原点ともなりました。

プロジェクト活動を通じて、農業女子が個から線でつながる輪となり、農産物や加工品などを消費者との交流により直接販売するマルシェ活動が活発になりました。



2015

平成27年度



06 広がり続ける農業女子の輪

2020

令和2年度



そして、「開発プロジェクト」では、メンバー同士の商品をセット販売するギフトセットを常に進化させ、多くの消費者に自分たちの生産物・加工品や活動を伝えています。

消費者との交流やアンケートの結果からニーズを的確に捉え、パッケージの内容を更新し、女性ならではの視点で栃木県の農業・農村の魅力を発信し、そこに合流する新たな仲間が増えています。

05 県を超えて、業種を超えて

「マルシェ & カフェプロジェクト」では、JA全農とちぎ主催のイベントに参加するほか、群馬県の農業女子と佐野市内の商業施設でコラボマルシェを実現するなど、活動の場をますます増やしています。

「食育・農業体験プロジェクト」は、宇都宮市内の酒蔵と連携してイベントを開催し、映画上映会や味噌玉づくり体験をとおして、子供たちに食の大切さを伝える活動を続け、次々と異業種や消費者など新たな人とのつながりが生まれています。



2019

令和元年度

04 人とのつながりで「思い」が「カタチ」に

その後、「美と健康プロジェクト」や「カフェプロジェクト」の活動をとおして、農産物を加工して消費者に届けることのやりがいを知り、次は自分たちのオリジナル商品を作り、消費者のもとに届けたいという思いから、「開発プロジェクト」が発足し「とちポタジェ」というオリジナルブランドのギフトセットをメンバー同士で生み出しました。

また、「食育・農業体験プロジェクト」では、今までの活動でつながったフレンチシェフや旅行代理店、ヨガインストラクターなどと連携して、葡萄畑で農業体験、ヨガやアフタヌーンティーを楽しむグリーンツーリズムを企画しました。Facebook などを通じて参加者を募集したところ、県内外の多くの方から参加申し込みがありました。

活動をとおして「人と人とのつながり」が生まれ、それがまた新たな人とのつながりを生み、今までにやりたかった夢が少しずつ実現していきます。



2018

平成30年度

